

あ げ お 議会 だより



第206号
令和5年(2023)
5月号

発行 / 上尾市議会
編集 / 議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町3-1-1
電話 048-775-9467



ア ゲ コ コ AGECOCOがオープン

4月から、大谷西保育所・つくし学園・発達支援相談センターの複合施設として「AGECOCO」がオープンしました。施設内では交流保育などが行われ、子どもたちは新しい環境で伸び伸びと過ごしていました。

主な内容

予算特別委員会	2~3ページ
審議された主な議案	4ページ
委員会審査、討論	5~6ページ
提出議案・請願とその結果	7~8ページ
市政に対する一般質問	9~15ページ
委員会活動	16ページ

予算特別委員会委員構成 (◎が委員長 ○が副委員長)

◎田中 一崇 ○荒川 昌佑 小池 佑弥 原田 嘉明 小川 明仁
 井上 智則 轟 信一 戸口 佐一 海老原直矢 平田 通子
 長沢 純 浦和 三郎

皆さんの生活に
直結する

令和5年3月定例会では「予算特別委員会」を設置し、皆さんの生活に直結する令和5年度一般会計予算を集中的に審査しました。

委員会では、昨年9月の決算特別委員会の提言に対する予算措置状況について説明を受けた後、部局別審査、総括質疑、討論、採決を行いました。以下、委員会における質疑を抜粋してご報告します。

「令和5年度」

「一般会計予算を審査」

65周年記念事業を展開

問 記念事業に関連する広報広聴費の内容を伺う。

答 市勢要覧の作成および配送、NHK公開放送の警備および会場借り上げに係る費用などである。

問 記念式典会場の文化センターの収容人数と、招待者の人数は。

答 文化センターの収容人数は千人程度である。前回の市制施行60周年記念式典は表彰者が1525人、招待者が1853人で、招待者の57%が出席した。今回も同程度を見込んでいる。

窓口キャッシュレス
決済を導入

問 キャッシュレス決済導入に係る予算を計上した経緯は。

答 現在、証明書の料金などの支払いは現金のみの取り扱いだが、

支払い方法を複数用意すること、市民の利便性の向上につながると判断した。



キャッシュレス決済のイメージ (日高市提供)

交通安全の取り組み

問 自転車乗用時のヘルメット着用が全年齢で努力義務になったが、市としての取り組みは。

答 日頃から、子どもに対しては幼稚園や小学校で交通安全教室などを実施し、高齢者に対しては施設などで交通安全に関する周知を

している。ヘルメット着用の努力義務についても、そうした取り組みの中で周知を図り、保護者に対して子どもへの着用を推進していただくよう指導していきたい。

子どもショートステイの
日帰り利用の拡充

問 制度内容と費用は。

答 平日の夜間または休日に保護者が不在となるなど、さまざまな理由で一時的に養育が困難となった場合に児童を預かるトワイライトステイを新たに実施する。利用者負担額については、平日夜間の場合、生活保護世帯は無料、非課税世帯は300円、課税世帯は750円で、土・日・祝日の日中の場合、生活保護世帯は無料、非課税世帯は千円、課税世帯は2750円である。

粗大ごみ収集の改善

問 粗大ごみ回収方法の変更内容

は。また変更によりどのような効果が期待できるか。

答 7月をめどに、収集の受付枠を1.7倍程度に増やすことにより、予約ができない方々をお待たせすることなく受け入れができるようになるの見込んでいる。また手数料の納付を事前納付券制とし、立ち会いを不要とする予定である。事前納付券は公共施設、市内のコンビニなどでも購入できるように調整を進めている。

上平広場に フェンスを設置

問 ネットフェンスを作るということは、公園として利用する方針ということか。今回設置するフェンスがどのくらいの期間使うものと想定して予算を計上しているのか。

答 用途は決まっていないが、引き続き管理する上で、グラウンドゴルフや幼児などのボール遊びで利用する際に、ある程度の安全性が必要であることを考慮した。なお、審査の中で、暫定利用の場所に対する経費としては高額であるとの意見があったことを踏まえ、

単管パイプなどの既存設備を活用するなど、工事内容を見直し、安全性を考慮しつつ、かつ経費を抑えた形で事業を進めていきたい。



ネットが部分的に張られていない上平広場

学校給食費の公会計化

問 公会計化により、学校給食費の徴収の方法は変わるのか。また滞納があった場合の対応は。

答 徴収方法は基本的に口座引き落としとなる。引き落としできず滞納した場合、これまでは教職員が督促や催告などを行っていたが、今後は市から納付書を送付し、市に納めていただく。

決算の提言は どう生かされた？

歳入の確保

問 財政収支改善のための方策として、令和5年度予算にはどのような計画を立てているか。

答 ネーミングライツ事業では、提案募集型による新たな自主財源確保に向けて推進を図っている。またユーチューブパートナープログラムでは視聴回数の獲得および増加に向けて、動画制作の目的やターゲット、共感を生む工夫などを研究しながら動画制作を行うことで、収益の拡大を目指していく。

事業の精査

問 政策企画提案制度で採択した事業は、どのような点を重視したのか。

答 市民のニーズに合致、または時代を先取りしていること、事業費が妥当であることのいずれも満たしていることが前提となる。さらに、市長公約に掲げる政策や市民が夢を持てるものかどうか、またコスト面も重視した。

適切な財政運営

問 令和3年度末時点の令和8年度までの収支見通しと比較すると、歳入予算は想定より上振れが生じている。ずれを認識した上での取り組み方針は。

答 財政収支の見通しの期間は5年間であるが、社会情勢の変化、税制制度の改定、急激な行政需要の変化に対応するため毎年度見直しを行い、収支見込みのずれを修正している。現状では引き続き財源不足が生じる見込みで、財政調整基金の取り崩しは避けられないが、歳入確保や歳出抑制などを果敢に実行し、市財政の健全化を図っていく。

優先的事業の予算配分

問 令和5年度の定住促進の取り組みは。

答 子育て・教育環境の充実や防災減災対策の充実強化、健康づくりの推進などが柱となると考える。民間保育所の整備補助や民間スイミングスクールを活用した水泳授業のモデル事業の実施、上尾市と伊奈町の消防広域化、スポーツ健康都市宣言関連事業など、充実を図りながら実施していく。

Pick Up

3月定例会で審議された議案は、市長提出議案（追加提出議案を含む）36件、議員提出議案7件の計43件で、40件を原案のとおり可決・承認・同意し、3件を否決しました。

令和5年3月定例会 審議された主な議案

議案第6号 令和5年度上尾市一般会計予算

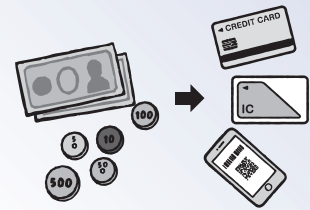
3つの重点事項を定めた予算を編成

一般会計の予算規模 734.6 億円

1 ポストコロナにおける

「みんなでつくる みんなが輝くまち あげお」の実現

- ・市制施行65周年記念式典の開催
- ・窓口でのキャッシュレス決済の導入
- ・「上尾の摘田・畑作用具」展示施設の整備 他



2 住民の命を守るための防災・減災対策の充実・強化

- ・上尾市・伊奈町消防広域化の実施
- ・荒川堤防整備附帯事業（かわまちづくり計画の策定）
- ・住民参加型の防災訓練を実施 他



3 将来を見据えた持続可能なまちづくりの推進

- ・民間保育所の施設整備を支援
- ・出産・子育て応援事業
- ・学校施設更新計画を推進
- ・民間スイミングスクールを活用した水泳授業を実施
- ・小・中学校給食費の公会計化を導入
- ・脱炭素シナリオ検討調査
- ・カーボンオフセット
- ・地球温暖化対策基金などを活用した公共施設の照明LED化を推進
- ・スポーツ健康都市宣言関連事業
- ・公共施設マネジメントの推進 他



※その他の議案や議決結果については、7・8ページ「令和5年3月定例会提出議案・請願とその結果」をご参照ください。

3月定例会の動き	
<p>2月17日 本会議 開会、議員の辞職、「上尾、桶川、伊奈衛生組合」議会議員の選挙、市長提出議案の上程および説明</p>	<p>2月22日 本会議 提出議案に対する質疑、委員会付託</p> <p>2月24・27・28、3月1日 委員会 予算特別委員会 康福祉常任委員会</p>
<p>3月3日 委員会 総務・都市整備消防常任委員会</p> <p>3月6日 委員会 文教経済・健康福祉常任委員会</p> <p>3月7日 委員会 予算特別委員会</p>	<p>3月9日 本会議 一般質問、議案第1号の委員長報告、討論、採決</p> <p>3月10・13・14日 本会議 一般質問</p> <p>3月22日 本会議 委員長報告、討論、採決、追加提出議案の上程、質疑、採決、上尾伊奈資源循環組合議会議員の選挙、議員提出議案の上程、採決、閉会</p>

委員会審査から

総務、都市整備消防、文教経済、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案などの審査を行いました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

総務常任委員会

条例 犯罪被害に遭われた方を支援

〈メモ〉犯罪被害者などの支援に関し、基本理念および施策の基本となる事項を定め、見舞金の支給による経済的負担の軽減などの施策を、総合的かつ計画的に推進するもの。

委員 「犯罪被害」の定義は。

答 殺人、強盗致傷など、人の生命または身体を害する罪に当たたる行為により受けた被害を基本とする。また心神喪失者の行為により受けた被害、14歳未満の少年の行為により受けた被害についても対象としている。

委員 見舞金の支給額は。

答 遺族見舞金は30万円、傷害見舞金は10万円を規則に位置付ける

予定である。

委員 警察とはどのように連携していくのか。また、犯罪であるか認定することが難しいケースにはどのように対応するのか。

答 犯罪に関しては、警察が最初に認知するため、基本的には警察から自治体に被害者の発生と支援の依頼が来る流れになると考えている。市の窓口で直接相談を受けられる場合にも、警察との情報共有を図りながら対応を見極めていく。



犯罪被害者支援総合的対応窓口（交通防犯課）

都市整備消防常任委員会

条例 荒川河川敷の利活用に
関する協議会を設置

〈メモ〉地域の資源である荒川河

川敷の利活用などについて協議するため、附属機関として「上尾市かわまちづくり協議会」を設置するもの。

委員 委員は15人以内とのことだが、自治会長などの市民がどのくらい入るのか、その内訳を伺う。

答 学識経験者として大学教授1名、平方地区を代表する者として自治会長4名、平方まちづくり協議会2名、平方土地改良区1名、各種団体を代表する者として商工会議所2名、観光協会1名、市職員として3名の計14名を予定している。

文教経済常任委員会

条例 ごみ処理手数料と徴収方法を変更

〈メモ〉西貝塚環境センターの老朽化に伴う運営経費の増加、粗大ごみの戸別収集に係る申し込みの増加などの現状を踏まえ、廃棄物の処理手数料などの額およびその徴収方法を見直すもの。

委員 被災したが災害救助法の適用にならなかった市民について、被災による粗大ごみが出てしまった場合にも、この金額を負担することになるのか。

答 まずは被災を受けた家屋の罹災証明を受けていただく。その証明があれば、手数料を免除することができるとが。

委員 7月から粗大ごみ収集の受け入れ枠を拡大することだが、予約方法に変更はあるのか。

答 現在の予約方法として、翌月の収集予約を毎月20日に、電話予約だけで受け付けているが、すぐに電話がいっぱいになってしまいうような状況である。そのため、引き続き電話予約も受け付けるが、ウェブ予約を新たに取り入れていきたいと考えている。

	現行	改正後
自己搬入する一般家庭から生じた多量ごみ・粗大ごみ	10kgにつき80円 (10kg未満は無料)	10kgにつき100円 (10kg未満は100円)
戸別収集する一般家庭から生じた粗大ごみ	10kgにつき230円	1辺の大きさに応じ1点につき 1m以内 250円 1m超2m以内 500円 2m超 750円
事業系一般廃棄物	10kgにつき230円	10kgにつき250円

処理手数料などの額（現行と改正後の比較）

健康福祉常任委員会

当初予算
高齢者を対象とした
eスポーツ事業を開催

〈メモ〉スポーツ健康都市宣言に基づき、シルバーeスポーツイベントを開催するためのゲーム機やモニターなどの機器購入費、イベント運営に係る委託料などを計上するもの。

委員 イベントの概要は。

答 高齢者の方にeスポーツに触れていただく機会を設けることを目的として、まずは公共施設で1回開催する。またeスポーツが高齢者にどのような効果をもたらすのか、大学教授による講演を通してその意義を普及していきたいと考えている。

委員 1回の開催で145万円かかるようだが、その内訳は。また購入予定の備品は継続して使用できるものなのか。

答 備品として大型モニター、モニター台、ゲーム機をそれぞれ4台と、その周辺機器やゲームソフトを購入予定である。その他に会場借上料、運営委託料を計上している。

まずは一度開催し、その反応を

見ながら来年度以降も継続して実施していきたいと考えている。



シルバーeスポーツの例（鶴ヶ島市提供）

討論

令和5年度上尾市一般会計予算

反対 共産党 住民の命を守るため

の防災減災対策の充実強化、持続可能なまちづくりの推進に向けた事業が予算化されたことは評価できる。しかし、物価上昇は収まらず事業者も原材料高騰などで大きな打撃を受けている中、農業者、事業者、市民の生活を直接応援する策が極めて不十分であり、反対する。

反対 無党派(秋山) 教職員は

学力の向上だけでなく不登校の児

童生徒に対するフォローもしくなくではいけない。学級支援員の配置については教育現場の声を聞くよう要望してきたが、前年と同じだけの学級支援員の人数しか予算化されていないことは、大きな問題だと考える。

令和5年度上尾市水道事業会計予算

反対 無党派(秋山)

水道原価を減らす取り組みに努力の跡は見られるが、その大きな割合を占めているのは検針である。事業者間の競争が必要であり、30年以上1つの企業が代わらないということは問題だと思う。多くの事業者が新しく参入して、競争ができるような体制にしてほしい。

上尾市犯罪被害者等支援条例の制定

賛成 政策・市民の声

条例制定の必要性を繰り返し訴えてきたが、今回、見舞金の支給、人材育成、民間支援団体の活動促進も含めた網羅的な条例が提案されたことを喜ばしく思う。事業者の理解を深め、行政に関わる部分以外でも被害者の負担軽減が十二分に図られるよう、本条例に基づく施策を実施することを強く求める。

市内教育機関等においてマスク着

脱を強制しないことおよび黙食指

導の見直しを求める請願書

賛成 彩の会 請願の委員会審査

において、請願が議会に出される前に教育委員会へ相談に行ったがなかなか取り上げられず、教育委員会定例会への議題としても取り上げられていなかったことが判明した。今回の件に当局の対応が十分であったか、今後も含め相談者への対応に関して再考を求める意味で、採択することに賛成する。

採択された請願

令和5年3月定例会において、次の請願が採択されました。

市内教育機関等においてマスク着脱を強制しないことおよび黙食指導の見直しを求める請願書

請願者／埼玉有志子どもの笑顔を
守る会 堀江有香氏

同意した人事案件

政治倫理審査会委員・関篤氏、関根貴生氏、三角元子氏、渡辺英人氏、船川喜正氏の任期が令和5年3月31日で満了となるため、船川氏の後任として佐藤久美子氏を、他4名については再び委嘱することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

令和5年3月定例会提出議案・請願とその結果

※詳しくは市議会ホームページの「議案」をご覧ください。



◎市長提出議案 (36件)

議案番号	議案名	議決結果
議案第1号	令和4年度上尾市一般会計補正予算(第14号)	原案可決
議案第2号	令和4年度上尾市一般会計補正予算(第15号)	
議案第3号	令和4年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	
議案第4号	令和4年度上尾市介護保険特別会計補正予算(第2号)	
議案第5号	令和4年度上尾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
議案第6号	令和5年度上尾市一般会計予算	
議案第7号	令和5年度上尾市国民健康保険特別会計予算	
議案第8号	令和5年度上尾市介護保険特別会計予算	
議案第9号	令和5年度上尾市後期高齢者医療特別会計予算	
議案第10号	令和5年度上尾市水道事業会計予算	
議案第11号	令和5年度上尾市公共下水道事業会計予算	
議案第12号	上尾市犯罪被害者等支援条例の制定について	
議案第13号	上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会条例の制定について	
議案第14号	上尾市学校給食運営委員会条例の制定について	
議案第15号	上尾市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第16号	上尾市環境審議会条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第17号	上尾市かわまちづくり協議会条例の制定について	
議案第18号	上尾市建築基準法等関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第19号	上尾市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料徴収条例及び上尾市都市の低炭素化の促進に関する法律関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第20号	上尾市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第21号	上尾市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	
議案第22号	上尾市つくし学園条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第23号	上尾市障害福祉サービス事業所かしの木園条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第24号	上尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第25号	上尾市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第26号	専決処分の承認を求めることについて【令和4年度上尾市一般会計補正予算(第13号)】	承認
議案第27号	市道路線の認定について	原案可決
議案第28号	市道路線の廃止について	
議案第29号	市道路線の認定について	
議案第30号	市道路線の廃止について	
議案第31号	政治倫理審査会委員の委嘱について【関篤氏】	同意
議案第32号	政治倫理審査会委員の委嘱について【関根貴生氏】	
議案第33号	政治倫理審査会委員の委嘱について【三角元子氏】	
議案第34号	政治倫理審査会委員の委嘱について【渡辺英人氏】	
議案第35号	政治倫理審査会委員の委嘱について【佐藤久美子氏】	
議案第36号	令和4年度上尾市一般会計補正予算(第16号)	原案可決

◎議員提出議案 (7件)

議案番号	議案名	議決結果
議案第1号議案	建築物石綿含有建材の事前調査・除去費用の国民への周知と国民負担軽減措置を求める意見書	原案可決
議案第2号議案	保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書	
議案第3号議案	マイナンバーカードの交付率を地方交付税に反映させないよう求める意見書	原案否決
議案第4号議案	憲法9条を生かした平和外交を求める意見書	
議案第5号議案	「原発帰還」方針を撤回し、再生可能エネルギーの本格的な推進を求める意見書	
議案第6号議案	認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書	原案可決
議案第7号議案	新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取組の強化を求める意見書	

◎請願 (1件)

請願番号	請願名	議決結果
請願第22号	市内教育機関等においてマスク着脱を強制しないことおよび黙食指導の見直しを求める請願書	採択

◎本議会において賛否が分かれた議案

※○=賛成 ×=反対 ※議長は採決に加わりません。
※一覧に掲載されていない議案・請願は、全会一致で可決(採択)。

議案番号	議決結果	政策・市民の声					上尾同志会					共産党				公明党			彩の会		無党派							
		樋口敦	荒川昌佑	矢口豊人	海老原直矢	鈴木茂	浦和三郎	井上茂	小池佑弥	田島純	原田嘉明	新道龍一	田中一崇	渡辺綱一	轟信一	新藤孝子	戸口佐一	池田達生	平田通子	井上智則	前島るり	長沢純	道下文男	小川明仁	星野良行	大室尚	佐藤恵理子	秋山かほる
議案第6号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第10号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第2号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	×	×	○
議案第3号議案	原案否決	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×		×	×	○
議案第4号議案	原案否決	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×		×	×	○
議案第5号議案	原案否決	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×		×	×	○

▶ 尾花瑛仁議員が辞職 ◀

2月17日に尾花瑛仁議員(上尾同志会)から辞職願が提出され、同日付で許可されました。

▶ 委員会などの変更 ◀

- ・2月17日、尾花瑛仁議員の辞職に伴い、田中一崇議員が上尾、桶川、伊奈衛生組合議会議員に選出されました。
- ・2月22日、戸野部直乃議員の辞職に伴い、海老原直矢委員が健康福祉常任委員会委員長に、原田嘉明委員が同副委員長に選出されました。
- ・2月22日、尾花瑛仁議員の辞職に伴い、小池佑弥議員が議会改革特別委員会委員に選任されました。また、新道龍一委員が同委員長に選出されました。

▶ 戸野部直乃議員が辞職 ◀

2月17日に戸野部直乃議員(公明党上尾市議団)から辞職願が提出され、同日付で許可されました。

▶ 上尾伊奈資源循環組合議会議員に6名の議員を選出 ◀

3月22日、上尾伊奈資源循環組合議会議員に秋山かほる議員、新道龍一議員、井上智則議員、平田通子議員、大室尚議員、井上茂議員が選出されました。

— 附帯決議は撤回 —

3月定例会閉会日に、議員から「議案第6号 令和5年度上尾市一般会計予算」に対し、予算特別委員会の審査における各委員の意見を十分に考慮および反映して予算の執行に当たる旨の附帯決議案が提出されました。

提出者に対する質疑、賛成意見や反対意見の討論が行われましたが、提出者から、審議を継続することが不適切であり、撤回したい旨の申し出があったため、議会として附帯決議案を撤回することを承認しました。

附帯決議とは?……議案の議決に当たって付け加えられる、議会としての意見または要望など議会の意思を示すもの。法的な拘束力はない。

議員研修会を開催

1月17日、公正取引委員会から講師を迎え、「入札談合の防止に向けて～独占禁止法と入札談合等関与行為防止法～」と題して、議員研修会を開催しました。
コンプライアンスに対する意識を高く持つとともに、行政監視機能をさらに向上させることができるよう、今後とも、市民の負託に応え、市民に信頼され続ける議会の実現を目指してまいります。



研修会の様子

一般質問

？ここが問題
そこが聞きたい！

3月定例会の一般質問は、3月9・10・13・14日の4日間行われ、20人の議員が市政全般64項目にわたって市当局の見解を求めました。各議員の一般質問の中から一部を掲載しました。詳細は市議会のホームページをご覧ください(5月下旬公開)。

なお、本定例会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴の自粛をお願いし実施いたしました。

各議員の2次元コードをスマートフォンのカメラ機能などで読み取ることで、一般質問の録画映像を視聴できます。



問 瓦葺中学校付近の宮浜踏切は死亡事故が多く、長年にわたりJRから廃止要請があったと聞く。現在は道路

答 現在、市内に視覚障害者誘導ブロックなどが設置された踏切道はない。令和4年に改定された国のガイドラインにおいて、踏切手前と踏切内に視覚障害者誘導ブロックなどの設置が望ましいとの見解が示されたことから本市としても設置に向けて鉄道事業者と調整を図っていきたい。

その他の質問

- 買い物弱者支援
- エコリフォーム補助
- 防犯カメラの設置促進



照明灯が設置された宮浜踏切

答 照明灯が整備されたことで夕暮れ時の視認性が向上し、通行者の安全確保につながるものと認識している。今後、改めて生徒や保護者などの意見を踏まえ、通行の可否を判断していく。

誰もが安全に通行できる
踏切の整備を



長沢 純 (公明党)



問 市内には踏切が11カ所あるが、視覚障がい者が渡ることも想定される。踏切内の安全対策として、点字ブロックの設置はあるか。

照明灯が設置され、明るい道路になった。瓦葺中学校の生徒は、学校からの指導で踏切を通らず遠回りして通学しているが、安全になった宮浜踏切を通れるようにできないか。

「ふれあいの森」はその名にふさわしい整備を



新道龍一 (上尾同志会)



答 照明灯が整備されたことで夕暮れ時の視認性が向上し、通行者の安全確保につながるものと認識している。今後、改めて生徒や保護者などの意見を踏まえ、通行の可否を判断していく。

問 「ふれあいの森2015」に移ると考えられているが、うっそうとしていて近寄り難い。現在の管理状況は。



うっそうとした「ふれあいの森2015」

答 良好な自然環境を保全するため、市が指定し、管理をする雑木林のことである。

その他の質問

- 企業提案型ネーミング
- グライツ事業の推進
- 公園施設維持管理更新計画
- 上平パーク

問 「ふれあいの森」は、伐採、落ち葉やごみの清掃を行っているが、指定当初から木や竹が密生している上に面積が広大で、管理が行き届かない部分がある。

答 利用状況を踏まえ、必要に応じて立ち枯れた樹木などの伐採を実施していきたい。

児童生徒にとって 安心・安全な通学路に

井上智則（公明党）



問 通学路の危険箇所については、各小学校のホームページで通学路安全マップを公表しているが、市内全域を横断的に見たり、小学校区をまたがる危険箇所を把握したりするのに手間がかかる。小学校区をまたがった危険箇所への意識が薄くなってしまふことを懸念するが、危険箇所を横断的に見やすくする工夫が必要ではないか。

答 市内全小学校の通学路安全マップを迅速に検索ができるよう、ホームページを改善していく。

問 上平北小学校付近の市道30094号線は抜け道になっており交通量が非常に多い。

幅員も狭く危険である

ことから、今後、スクールゾーンの設定をするなど安全対策をしていく必要があると思うが、教育委員会の見解を伺う。

答 提案された対策を含め、関係各課や警察と情報共有し、通学路安全対策を講じていく必要があると考えている。



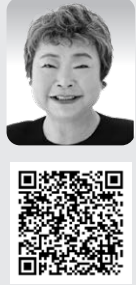
幅員が狭く危険な通学路

その他の質問

- 市民・県民に愛される水上公園跡地エリアにするために
- 安心・安全な鉄道利用のために

ヤングケアラーに対する 新たな支援策は

秋山かほる（無党派）



問 親の面倒を見ながら下級生の食事の支度をしたりするような「ヤングケアラー」は相当数存在する。以前、市で実態を調査しているが、その結果は。

答 ヤングケアラーと思われる児童生徒が小学生の7%、中学生の4・3%存在し、学校生活に影響が出ている子どもや、悩みを抱えたまま生活をする子どもが少なからず存在する状況が見られた。

問 そうした実態を踏まえて、市の対策と令和5年度に実施する事業内容を伺う。

答 令和5年度は子ども家庭総合支援センターにヤングケアラーコ

新たな支援策は

ーディネーターを新たに配置し、本人や家族からの相談があった場合に、学校や関係機関と連携して適切な支援につなげるための調整を行っていく。

また、ヤングケアラー自身が抱える悩みを気軽に相談できるように、当事者同士が交流できるオンラインサロンを開催する。オンラインサロンの運営実績のある大学に協力をお願いし、6回分の開催費用を計上している。

さらに周知啓発事業として、ヤングケアラーに関する講演会の開催、児童生徒向けのリーフレットの配布を行っていく。

その他の質問

- 2025年度に向けて市の方針
- ゴミ回収事業とリサイクル

上尾市民の健康状態は!!

浦和三郎（政策・市民の声）



問 上尾市国民健康保険加入者の健康診査と医療費の関連は。

答 令和3年度の生活習慣病に係る医療費は健診受診者が8985円であるのに対し、未受診者は3万5493円で、未受診者の医療費が約4倍である。

問 過去3年のがん検診で発見された主な疾病は。

答 前立腺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診の順に、がんと診断される割合が高い傾向にある。

問 本市の男女別の平均寿命は。

答 埼玉県によると、令和2年の平均寿命は男性81・93歳、女性87・17歳である。

ひとり暮らしの高齢者の男女別人数は。

答 単身高齢者調査によると、男性が3493人、女性が5869人である。

問 ひとり暮らしの高齢者の食事内容を把握しているか。

答 令和3年度に開始した高齢者の保健事業と介護予防などの一体的実施事業では、75歳以上でBMIが18・5以下などの低栄養の可能性がある方を対象に、栄養に関するパンフレットなどの送付や管理栄養士による個別栄養相談などを実施している。また公民館ではフレイル予防講座を開催し、普段の食事の状況の確認や栄養指導なども実施している。

その他の質問

- 体育館と武道場のトイ

市民が市政に声を

伝える制度の改善を

海老原直矢 (政策・市民の声)



で回答するように、現在全庁に周知を図っている。

問 市長の見解を求め

問 「市長への政策提言制度」「市政への問い合わせ制度」について、市民がどちらか選択でき

答 令和5年度から専用はがきの更新に合わせ、市ホームページの様式も変更し、市民が「市長への政策提言制度」「市政への問い合わせ制度」のいずれかを

問 市民への回答について、令和4年12月定例会で「より分かりやすい平易な表現を用いるよう努めていく」との答弁があったが、その後の改善状況は。

答 いただいた意見に対し、より平易な表現

地域リサイクルは

引き続き改善を

井上 茂 (政策・市民の声)



あったことが原因と考えている。

問 アルミは特に市場

問 9月議会では、地域リサイクル実施団体によってアルミの買い

答 令和5年度から「市長への政策提言制度」で寄せられた意見に対しては、市長名で回答するよう制度を運用していく。

問 市民参加条例や市民参加推進審議会など、他自治体のように市民

答 現時点では新たに市民参加に関する条例を制定する考えはないが、引き続き市民の市政への参画の促進を図っていく。

問 そもそも価格差が生じていた原因は。

答 同程度の分別状況による価格差は解消されると考えている。

問 組合内で価格決定の際の統一した基準がなかったため、売り払い価格の差が不明確で

答 売り払い価格は個別の収集状況を踏まえた取引を基本としていたため、個々の価格調整は行わないが、実施団体などの公平性が確保できるように丁寧な実態の把握に努め、必要な調整を図っていく。

市民生活を支える団体連携

市内バス環境改善

原田嘉明 (上尾同志会)



役割を担い、市の福祉行政に不可欠なパートナーと認識している。各自治会とは行政連携協定を締結し、各種委員の推薦、連絡文書配布、各種調査や行事実施の協力など、市のまちづくりに関することのできない存在で、共に築き上げてきた信頼関係をさらに深め、連携強化に努めたい。

問 ぐるっとくん見直しの取り組み状況は。

問 市民生活を支える団体連携

答 市は、地域経済発展のため上尾商工会議所と長年緊密なパートナーシップを築き、施策立案や実施、コロナ禍の中小企業支援や消費喚起策などを推進している。令和3年度、商工会議所内に中小企業の事業継続や持続的発展を支援する総合拠点として、上尾中小企業サポートセンターを開設した。引き続き、市内産業のさらなる活性化のため、より一層の連携強化に努めている。社会福祉協議会は地域福祉推進の中核の

問 行政運営上、特に連携が必要と考える団体の認識は。

答 地域公共交通活性化協議会で、車両台数、運行便数増加、上尾駅起点の現運行ルートの維持など、見直し実施方針案を提示し、路線数96から120便の増便を併せて提案した。

問 市内バス環境改善

答 地域公共交通活性化協議会で、車両台数、運行便数増加、上尾駅起点の現運行ルートの維持など、見直し実施方針案を提示し、路線数96から120便の増便を併せて提案した。

問 市内バス環境改善

答 市内バス環境改善

その他の質問

- 子ども・子育て支援
- 都市施策

その他の質問

- 水害対策
- 障がい者施策

その他の質問

- ゼロカーボンシティ
- シティセールズ
- 市主催事業等の状況

団塊の世代が活躍できる まちづくりを

道下文男（公明党）



問 上尾市シルバー人材センターでは、フレイル予防教室や小学生対象の学習支援教室の講師の育成に取り組んでいるが、高齢者の活躍の場を広げるために業務を拡大できないか。

答 関係課に対し、さらなる情報提供に努めていく。

問 上尾市版の市民大衆として社会人を対象に実施していた「上尾ふるさと学園」には、どのような課題があったのか。

答 事業を企画運営していた生涯学習推進員の減少と高齢化、さらには利用者の声を反映して適宜制度を見直していった結果、公民館講座として統合した。

団塊の世代が活躍 できるようプロジェクト チームを結成し、取 り組むべき方向性を決 定していくことを提案 するが市長の見解は。

答 総合計画においてまちづくりの基本方向の一つに「人生が楽しめるまちづくり」を掲げ、健康づくりや介護予防、高齢者の社会参加や就労など、活動を推進する施策展開を指している。市内団体の皆さまを支援しながら、人生100年時代を見据えたまちづくりに取り組んでいく。

その他の質問

●上尾市の「こどもみんなな社会」にむけて

●上尾商工会議所・上尾ものづくり協同組合などとの連携による上尾市ものづくりの街の更なる推進

民間路線バスのルート拡充を

荒川昌佑（政策・市民の声）



問 大石地区には民間路線バスがほとんど走っていない。人口も多

いことから採算は取れずと考えるが、小敷谷吉田線を利用して小泉地区に民間路線バスを運行することは考えているか。

答 民間バス事業者に確認したところ、現時点では、小敷谷吉田線を利用した小泉地区方面の運行は考えていないとの回答であった。

問 大谷地区の区画整理事業が終わり、市の区画整理は全て終わったと聞く。区画整理が一段落した地域への運行ルートについて、民間バス事業者とどのように協議していくのか。

答 区画整理事業地内の市民から多数の申し入れがあれば、検討することは可能であるとの回答であった。

問 市が主催する地域公共交通活性化協議会において、民間路線バスのルート拡充についても協議するべきであると考えるが、市の見解は。

答 民間路線バスのルートについては、需要や事業の採算性などを考慮して、運行事業者が設定するものと考えている。市としては、市民が利用しやすい公共交通を推進するため、上尾市地域公共交通計画に基づき、今後のバス需要に対応した運行本数を確保いただけるよう運行事業者と協議していく。

その他の質問

●保育行政
●学校開放

生活道路の環境整備を

田中一崇（上尾同志会）



問 西宮下中妻線的全線開通については、利便性が向上する一方で地域住民のメリットが少ないように感じる。現行の計画道路には天神社などがあるが、西宮下中妻線の始点変更の考えはないのか。

答 西宮下中妻線の始点である県道川越上尾線との交差点の位置については、現行の線形と他の線形を比較検討した結果、現行の計画で進めることが望ましいとの結論に至った。

問 当該道路をさいたま市へ延伸できないか。

答 さいたま市に接続する都市計画道路が存在しないため、延伸を行う予定はない。

問 西宮下中妻線が開

通しても、上尾駅周辺へのアクセスや町内会のコミュニティ寸断などの課題は解消されず、西宮下歩道橋の交差点がどのように使えるのかイメージができないなど、地域住民の心配は大きい。地元地区の生活道路については、どのように考えているか。

答 西宮下中妻線の整備に伴う周辺道路については、地域の意見を聞きながら、県や警察との協議を進め、必要な対策を実施していく。



始点予定地(奥は天神社)

その他の質問

●学校関係
●公園整備

魅力ある水辺の整備と

かわまちづくりを



矢口豊人（政策・市民の声）

問 かわまちづくり事業では、水辺のカフェやアウトドアスポーツなどの活用事例がある。

本市でもアーバンスポーツができる施設、ドッグランやeスポーツ体験ができる施設、カヌーやカヤック利用ができる船着き場など、市民要望が高い施設を整備することは可能か。

また上尾の花「ツツジ」の植栽などを行い、新たな花まつりを開催してはどうか。

答 今後設立する協議会で検討していきたい。
問 首都直下型の大地震などに備え、災害復旧、人や物資などの輸送を目的とした緊急輸送路としての河川活用も検討してはどうか。

答 現在のところ計画していないが、国や県の動向を注視していく。なお平方地区の堤防の一部では、水難救助活動ができる構造とする協議をしている。

問 大石地区の無堤区間の築堤、第四調節池も見据えた、荒川護岸の一体整備、中長期的な水辺の整備構想が大変重要と考えるが、市長の展望は。

答 大石地区の築堤は国で検討していると聞いている。また第四調節池の整備も荒川水系河川整備計画に位置付けられており、水辺の整備構想については、まずは平方地区のかわまちづくりを進め、その成果に基づき検討をしていく。

水道料金の市民負担の軽減を



戸口佐一（日本共産党）

問 現行水道料金では令和9年度以降赤字が発生すると予測され、令和8年の10%に始まり、5回の値上げがシミュレーションされている。市民負担の水道料金引き上げは行わないでほしいと思うが、市の見解は。

答 水道事業ビジョン改定版の経営戦略で示した料金見直しについては、水道事業における収支均衡を目的に、現状および今後の収益や施設更新費用などの見直しに基づいて試算した、推測によるシミュレーションであり、これをもって直ちに料金見直しを行うものではない。

問 受水費の単価が20%引き上げられたら、現在33%の受水費の構成割合はどのくらいになるか。金額でいくらの引き上げになるか。

答 受水単価が段階的に20%引き上げられたと仮定した場合、令和3年度決算値で再計算すると、給水原価における受水費の構成割合は約37%となり、金額は約2億2千万円増加する見込みである。

問 地下水を減らし、地下水を増やせないか。

答 地下水のくみ上げによる地盤沈下の懸念や、国の認可による水量制限もあることから地下水は増やせない状況である。

問 県水購入費である

学生・若者へ支援を

子育て世代へ支援を



新藤孝子（日本共産党）

問 コロナ禍の影響で2割の学生が退学を検討している。収入が減り、学費や食費の負担が学生を追い詰めている。奨学金を含む借金に苦しんでいる人の相談窓口はあるか。

答 生活支援課のくらしサポート相談窓口で就労支援や家計相談支援、住宅確保給付金の支給を行っている。また必要に応じて債務相談窓口として消費生活センターを案内する。

問 暮らしの支援はあっても、学びを続けるための支援がない。市独自に給付型奨学金を創設できないか。

答 市税を個人に給付することの不公平感など配慮が必要であり現時点では困難と考えている。

問 18歳までの通院費無料化は全国的に広がっている。家庭の経済状況に関わらず、無料で医療を受けられるようにするべきであると考えますが、市長の考えを伺う。

答 現時点では、18歳までの通院費助成拡大は予定していないが、今後も県に助成制度拡充を要望するとともにさらなる子育て支援施策の推進に努める。

問 高齢者を取り巻く状況の変化に応じた支援を



その他の質問
● 高齢者を取り巻く状況の変化に応じた支援を

その他の質問
● スポーツ健康都市への取り組み

その他の質問
● 緊急搬送と消防力の強化を
● 化学物質過敏症と香害

教えて！パート収入と税金 人材育成／水道施設の現状



田島 純（上尾同志会）



問 103万円や130万円の税や社会保険料が発生する年収の壁など市民がパート収入に関する相談をしたい場合、窓口はどこか。

答 住民税全般の相談は、市民税課が窓口となっている。また窓口では、住民税を詳しく解説した「住民税のしおり」を配布している。



令和5年度
住民税のしおり
上尾市
市民税課作成の「住民税のしおり」

問 国がリスクリングに5年で1兆円を掲げこれからは組織の責任として仕事に必要なスキルを習得させる潮流だが、本市の方針は。

答 職員が多様な能力を形成できるよう、デ

ジタル技術研修やキャリアデザイン研修を行っている。今後も社会情勢変化に対応できる職員の育成に努める。

問 私が関わる上下水道事業審議会で現在、水道事業ビジョンの改定審議中だが、水道事業の施設更新方針は。

答 更新基準年数だけでは費用負担も重く給水状況にも支障を来す。病院や避難所などの重要給水管路を優先し、適切な時期に必要な施設更新を行いたい。



昭和39年給水開始の上尾市水道事業
(写真は北部浄水場)

その他の質問
●インボイス制度の注意

小・中学校の特別教室と 給食調理室にエアコン設置を



轟 信一（日本共産党）



問 小・中学校の特別教室におけるエアコン設置状況を伺う。

答 全校の音楽室、図書室、コンピューター室および改築工事を行った小学校2校の特別教室には、エアコンが設置されている。その他に、小学校は理科室2校、図工室3校、家庭科室3校、中学校は美術室3校、技術室1校に設置されている。なお理科室、家庭科室に設置されている中学校はない。

問 昨年9月の議会で特別教室にエアコン設置を求める請願が全会一致で採択されたが、令和5年度の予算書に盛り込まれていない。どのような予算が組まれたのか。

答 暑さ対策として、特別教室には冷風機、給食調理室にはスポットクーラーの購入費を計上した。

問 請願はエアコンの設置を求めたものだが、なぜ冷風機とスポットクーラーなのか。

答 エアコンのように大規模な工事を要さず速やかに設置が可能であり、移動して運用できることも考慮した。

問 エアコンの設置を求める現場の声を聞き、市長はどのように考えるか。

答 エアコン設置に当たっては、学校施設の更新に合わせ計画的・効率的な整備を進める。

その他の質問
●小・中学校の給食費無償化の対象拡大を利用しやすいWiFi i環境の取り組みを

少人数学級、小規模校を 大事にする学校施設計画を



池田達生（日本共産党）



問 1月に行われた公聴会では、公述人49人は誰もこの計画に賛成していないが、見解は。

答 地域公聴会は素案に対する意見聴取が目的であり、計画の賛否を問うものではない。

問 平方北小学校は単学級の小規模校だが、いま、この学校の「ウエルビーイングな学校をつくる」実践が注目されている。幸せな大人の姿を見ることで子どもが育つという考えで、学校が楽しいという声が多くなり、保健室利用者は半減し、学力も向上した。小規模校を理由に学校を統廃合しないよう求めるが、平方北小学校の実践に対する見解は。

答 ウエルビーイングの考え方を学校経営に取り入れ、さまざまな成果を上げていることは素晴らしい。どの学校もウエルビーイングな状態であることが重要と認識している。

問 民間スイミングスクールを活用した水泳授業において、児童生徒の安全確保と教員の負担に課題はないか。

答 移動時には教員などが乗降時の見守りを行う。また水泳指導時には教員に加え、インストラクターによる多人数での安全確認が行える。教員の負担については日々のプール施設の維持管理に伴う負担の軽減が期待できる。

その他の質問
●高齢者に優しい公共交通を
●住民参加の市政と投票率の向上へ

希望する人へ安心の保育を 不登校支援を強めて



平田通子 (日本共産党)



希望する人へ安心の保育を

問 3年間で待機児童数は15人から9人に減ったが、保留児童は311人と75人増えている。令和4年度新設の4施設は、上尾駅や北上尾駅の近くで、原市南・瓦葺地域の東大宮駅の近くは増えていない。どこに住んでいる親子も保育が受けられるよう、原市南・瓦葺地域に保育所の誘致を求めるが見解は。

答 保育施設の整備については「第2期上尾市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、待機児童解消に向け、保育需要を見据え効果的な整備をしていく。

不登校支援を強めて

証明書交付は機械化して 自治体DXの推進を



大室 尚 (彩の会)



問 令和5年度に、窓口での証明書発行手数料のキャッシュレス決済導入を予定しているとのことだが、具体的な内容は。

答 市民と接する機会が多い市民課、証明書の発行センター、各支所・出張所の窓口において、キャッシュレス決済端末と、データ集計機能を持つPOSレジおよび引き続き現金での支払いに対応するための自動釣り銭機を導入する予定である。

問 コンビニでの証明書交付率を伺う。

答 令和2年度は4.7%、令和3年度は8.9%、令和4年度は12月末時点で12%と増加傾向にある。

その他の質問
● 未来都市のまちづくりスーパージティ構想



伊奈町役場に設置されているマルチコピー機 (伊奈町提供)

問 コンビニに設置されている証明書自動交付サービス端末を市役所にも設置すれば、窓口の混雑回避にもつながるのではないかと。

答 証明書自動交付サービス端末は、マイナンバーカードを使用することにより証明書などを発行できるものであることから、マイナンバーカードの普及状況を注視しつつ、今後の業務のあり方を協議する中で、検討課題の一つと捉えている。

生徒の成長や自己実現を 妨げない生活指導を



佐藤恵理子 (無党派)



問 学校における生活指導は、生徒が健康的かつ安全な環境で学ぶ上で重要な役割を果たしており、その一環として多くの学校で校則を定めている。

しかし、この校則が理不尽な内容である場合、生徒の成長や自己実現を妨げることになりかねない。適切な生活指導を行うためには、校則の内容が時代に沿っているものであるか、常に見直しや改善をする必要があると考える。

例えば、髪型やピアスの禁止などは個性を抑圧するものと問題視されることもある。髪型に関する規定は学校によって異なると聞くが、本市では、ポニー

テールやツインテールなどの髪型を禁止している中学校は何校あるのか。

答 ポニーテールやツインテールを禁止している中学校は、市内11校中3校である。

問 ポニーテールやツインテールなどの髪型が、生徒の安全や健康、学習や生活にどのような影響を及ぼすのか。禁止している理由を伺う。

答 運動するときには髪の毛が目に入るなど、自分だけでなく周りの人にもけがをさせるおそれがあり、安全面を考慮しているためとのことである。

その他の質問
● 放置自転車や放置バイク
● バス停のベンチ
● 上尾のごみ
● 運転免許証



6月定例会会期予定表

- 6月5日 開会
- 8日 質疑、委員会付託
- 9日 委員会
(総務、都市整備消防)
- 12日 委員会
(文教経済、健康福祉)
- 14~16、19~21日
一般質問
- 23日 閉会

※開議時間は午前9時30分を予定しています。

***6月定例会は、6月5日(月)に開会予定です。**

請願、陳情、要望の提出期限は、5月30日(火)午後5時までとなります。

上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っております。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

上尾市議会HPアドレス

<https://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>



議会報編集委員会

- 委員長 田島 純
- 副委員長 樋口 敦
- 委員 小池 佑弥
- 委員 井上 智則
- 委員 荒川 昌佑
- 委員 轟 信一
- 委員 戸口 佐一
- 委員 大室 尚

委員会活動 R5.1.16 ~ R5.4.15



文教経済常任委員会(伊奈町への行政視察)



都市整備消防常任委員会(川口市への行政視察)

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	1/18 3/3	・所管事務調査「外郭団体について」 ・3月定例会提出議案3件を審査
文教経済常任委員会	1/19 2/22 3/6	・行政視察(伊奈町グリーンセンター) ・連合審査会を申し入れることについて協議 ・3月定例会提出議案6件、請願1件を審査
都市整備消防常任委員会	1/24 3/3	・行政視察(川口市) ・3月定例会提出議案10件を審査
健康福祉常任委員会	2/22 3/6	・正副委員長の互選 ・連合審査会を受け入れることについて協議 ・3月定例会提出議案14件を審査
議会運営委員会	2/14~ 3/22	・議会運営について協議(協議回数8回)
議会改革特別委員会	1/26 2/22	・議会基本条例について他 ・委員長の互選
上尾市学校施設更新計画基本計画調査特別委員会	3/8	・上尾市学校施設更新計画基本計画(案)、上尾市小中一貫教育基本方針(案)、上尾市学校給食基本方針(案)について他
予算特別委員会	2/22 2/24 2/27 2/28 3/1 3/7	・正副委員長の互選 ・決算特別委員会の提言確認、部局別審査(総務関係) ・部局別審査(総務・健康福祉関係) ・部局別審査(健康福祉・文教経済関係) ・部局別審査(都市整備消防・文教経済関係) ・総括質疑、討論、採決
議会報編集委員会	1/19 3/22	・「あげお議会だよりNo.205」について協議 ・「あげお議会だよりNo.206」について協議

—意見書4件を原案可決—

3月定例会では、議員提出議案として意見書7件を提出し、4件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆建築物石綿含有建材の事前調査・除去費用の国民への周知と国民負担軽減措置を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 厚生労働大臣 国土交通大臣 環境大臣 衆議院議長 参議院議長

◆保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣 内閣府特命担当大臣(少子化対策) 衆議院議長 参議院議長

◆認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 厚生労働大臣 衆議院議長 参議院議長

◆新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取組の強化を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣 衆議院議長 参議院議長